

B—62 近世以降における農民服飾に関する研究  
(第4報) 被服構成よりみた農民服飾(二)

和洋女子大 遠藤 武  
鷹司 綸子

1. 農民服飾第4報として昨年発表する予定であったところ病のため中止した、被服構成の第2報・付属品に関する問題をあらためてとりあげた。農村の衣生活の中で手甲脚半冠物等その付属品は身体の活動を助け外傷から保護するものとして無視することのできない発達をとげ、時には着物と同化し不可欠の構成物をなしている。

2. 和洋女子大学服装史研究室施行の「農山漁村労働着調査」の調査報告・地方誌・民俗誌・労働着雛形を主な資料として使用、前年の労働着と併行して実物調査を引続き行なっている。

3. 労働着の一部式・二部式服飾構成に対する手甲・脚半・袖とたすきの問題等副装品の構成並びに名称について説明を試みた。